

#届け、わたしたちの声



田村 紫音さん
(新川高等学校)

先生にVDFを紹介してもらい、内容を聞いた時に外国の方と話ができる面白さに惹かれて参加を決めました。普通に生活していたら知らないことがたくさんあります。学生生活や教育を知り、新しい価値観が生まれました。この経験を通して、若者一人ひとりがまずは簡単なテーマからでも、政治に自発的に興味を持つことが大切だと感じました。

新しい価値観の発見

自分の意見と向き合う

当初は「民主主義を学ぶ」というテーマの難しさに不安もありましたが、様々な経験を積み視野を広げたいと思い、参加を決めました。活動を通して自分の意見に向き合うことは、他者の意見を深く考えることにも繋がると実感しました。ここで「より良い話し合いの形」を学べたので、今後の様々な話し合いの場面で、この経験を役立てていきたいです。



村上 乃彩さん
(新川高等学校)

令和7年度「Voice Of The Future」プログラム 活動報告

Day1. 令和7年9月3日

北欧と日本の民主主義を探究するきっかけを作るため、スウェーデンの教育制度や民主主義について学びました。



Day2. 令和7年10月30日、31日

プログラムに参加いただいた学校に、デンマークの教員2名が訪問し、デンマークの高校生活、民主主義についての講義、生徒との交流事業及び質疑応答を行いました。



富山第一高等学校



高岡向陽高等学校

政治意識の高い北欧諸国について学び、あり方を考える主権者教育プログラムを県取組み内容の紹介と、活動に参加した高校生の生の声をお届けします。

政治をもっと身近に

参加する前は、初対面の人たちの前で発言をためらいがちでしたが、会場でみんなが堂々と意見を発信する姿に刺激を受けました。一歩踏み出したことで、自ら発信することが自分の世界を広げるきっかけになると学びました。VDFのように政治家の方々と直接関わる機会が増えれば、私たちに政治が身近になり投票意識も上がるはずです。



松原 わかなさん
(富山第一高等学校)

もっと気軽に政治の話を!

元々は「議員の方と直接交流できる」点に興味を持って参加しました。最初は政治に関心がなかったのですが、今ではニュースを自ら進んで見るようになり、自分の意思表明の大切さを実感しています。今後は学校の授業でも政治に触れる機会が増えて、普段の会話が友達と気軽に政治の話ができるようになればよいと思います。



城野 東さん
(片山学園高等学校)

SNSでわかりやすく発信!

参加する前は不安で消極的でしたが、先生の勧めで参加を決めました。VDFで若者の投票率の話を知り、自分も「18歳になったら必ず選挙に行こう」と強く思いました。そのために、まずは選挙の仕組みを知りたいです。また、候補者の方のアピールや投票のメリットを、SNSでもっと分かりやすく発信してくれたらいいなと思いました。



大城 歩友さん
(高岡向陽高等学校)

私たちも政治に関わっている

1年生の時に友達に参加しているのを見て、2年生になったタイミングで、その友達と一緒に参加を決めました。最初は「政治」や「民主主義」が難しく、無関係だと思っていましたが、活動を通して自分たちも政治に関わっているのだと気づきました。これからは社会の出来事に興味を持ち、自分の意見を自分で考え、相手にしっかり伝えたいです。



唐島 花歩さん
(高岡向陽高等学校)

昔から政治に興味があり、VDFでは他校の生徒や県議の方々と関われると聞いて参加しました。最初は「政治家が政治を作っている」と思っていたのですが、実は自分たち一人ひとりの意思決定の結果なのだ気づかされました。僕たち高校生も、まずは身近な地域課題に自分の意見を持ち、人と話し合いながら世間への関心を高めることが大切です。



日野 智貴さん
(片山学園高等学校)

政治を作るのは僕たち

? 「なぜ?」を繰り返して見つけた、未来を変える4つの『問い』

各校の生徒たちが「なぜ?」を何度も繰り返して(5Why)、物事の本質を深く探究することで辿り着いた独自の対話テーマは以下の通りです。

高岡向陽高等学校	自分の人生をより良く生きるために、高校卒業後にちよと立ち止まる時間があったらどんなことをしてみたい?
富山第一高等学校	若者が投票したいと思える、魅力的な投票方法はどんなもの?
新川高等学校	学校環境の中で、どんな活動が民主主義制度への参画につながる?
片山学園高等学校	学校で模擬選挙を導入して若者が主体的に政治に参画するようになったら、社会はどう変わる?

Day3. 令和7年12月20日

各高校で設置した探究テーマについて、県議会議員6名や他校の生徒に向け、探究成果発表と課題の提言を行いました。



各校、工夫を凝らしたプレゼンを実施。発表後には県議や他校の生徒から質疑も

その後、各校の生徒たちが活動を通じて深掘りし設定した対話テーマについて高校生と県議との対話を実施しました。



生徒の思いを引き出す問を投げかけ、生徒と県議がともに考える時間となりました